

令和4年度 大原和服専門学園 学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価の基本方針

学園教職員で構成する自己点検自己評価委員会が取りまとめた自己評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を行い、委員の多角的な意見をふまえ、より質の高い効果的な学校運営の改善のための具体案をまとめ、それをもとに組織的かつ継続的な学園運営の改善活動を行うとともに、学園の関係者に当学園の情報を開示し共有することで学園に対する理解と協力を促すこともあわせて目指していく必要がある。

その結果、当学園の社会での認知を上げるとともに当学園で学ぶ学生に対する教育の質の組織的かつ継続的な向上を実現し、学園の社会的な役割を高めていくことを学校関係者評価の基本方針とする。

2. 大原和服専門学園学校関係者評価委員名簿

奈良県職業能力開発協会	専務理事	竹村嘉基
美芸学園高等専修学校	校長	西村典久
大阪和服裁縫協同組合	理事長	大森貴之
卒業生代表		松本美波

I. 重点目標

●退学者については、発達障害や精神疾患など課題を抱えている人が増加傾向にあるので、学園単独で対策が難しいのではないかと考えている。

(学園の方針)

入寮している学生であれば、可能な限り対応できるが、一人暮らしの学生の場合は対応も限界がある。その場合は、保護者に協力いただく方向で対応している。教職員数にも限りがあるため対応に限界がある。学生総数が増加すれば限られた人間関係でのトラブルが軽減でき、退学についても減少できるものと考えている。

基準1. 教育理念・目的・育成人材像

●学習の手引きの作成について 良い取り組みだと思う。今後も進めていってほしい

(学園の方針)

学生や教職員に対して学園の目指すべき方向や育成人材、規則、授業予定、申請関係等バラバラになっていたものを1つの冊子にし入学時に配布するようにしている。今後ますます情報の共有が必要であるため、この学習の手引きを改定していくようにしていきたい。

基準2. 学校運営

●令和7年度入学生に向けて学科・コースの編成の見直しをする際に、多様な動機や能力の学生に対して和裁・着物にかかわらず1年次に様々な体験をさせ、選択するような形もよいのではないかと考えている。

(学園の方針)

現在の在校生を見ていると、和裁学科の在校生と着物学科の在校生は目指すべきところが違うため全体を1つにする方向性は望ましいと思えないと考えている。和裁学科、着物学科の中で進級卒業要件の見直しや産業界との連携を軸に見直しを検討している。

基準3. 教育活動

●和裁学科に関して、手縫いの技術を修得に加えて卒業後の広がりを考えてた場合、ミシンも扱えるようにすべきではないかと考えている。

(学園の方針)

現在、ミシンの使用は特殊物や手縫いでは対応できない素材の際に使用している状況である。今後は工業用ミシンの基本的な使い方については授業で取り組んでいくべきかと考えている。ただ、設備の問題もあり、高技専等の施設を利用するなど連携して取り組んでいきたいと考えている。

●大原は和裁の軸をしっかりとぶらさないほうが良いと思う。そのためには和裁で将来どのような道があるのか在学中から見えることが大事かと思う。和裁士を目指すのであれば、卒業してから引き続き学び続けることができる師範科のようなものも必要ではないかと考えている。

(学園の方針)

現在でも研究生・研究員制度があるがそれを魅力的なものにしていくことが必要であると考えている。奈良県和裁技能士会と連携して1級技能士フォローアップ研修の受講ができるなどさらに技術を高めてい

くことができるようにして和裁士を目指す人材育成していきたい。

●学生の気質の変化もあり、洋裁の職業訓練校では、数人が1チームのセル型で学びと生産を両立しているところがある。和裁もそのような取り組みができないのか。

(学園の方針)

和裁の場合は、1点1点オーダーになるためチームで行うのは難しい側面がある。また、生産と学習が以前は両立できる環境があったが、現在は両立が難しい状況である。

また、最近の学生は責任を負うことに抵抗があるため、学生間同士の学びあいを促進することも難しい状況である。入学してくる学生は学びを求める傾向が強まっているため、講義→演習→実習の流れを整理していくことが必要と感じている。

基準7. 学生支援

●学生生活で経済的に厳しい家庭の場合は、アルバイトも必要だと思うが、そのようなサポートはしていないのか。

(学園の方針)

現在、和裁学科では実習成果にあわせて研究助成金を支給している。以前は、多くの実習を行っていたのでそれがアルバイト代のような形であった。しかし、研究助成金も上がりにくい状況もあり、今後は実習成果にあわせて、授業料の軽減支援を行う方向で検討している。